

小石川植物園は武蔵野台地と低地の境に位置しています。私の散策経路は、まず坂を登って台地になり、帰り道に低地側を出口に向かって歩くことが多いです。初夏の季節はこの低地側の道が美しいです。この日も紫陽花を見ながら、親子がゆっくり歩いていた



これが完成した絵です



1、枝の重なり 葉の重なり 丁寧に描くと同時に軽妙な筆致も必要です



2、樹木の幹の暗さが紫陽花や親子の「明るさ」を引き立てます



3、森の奥のほうは、思い切り暗くするのが私の描き方です



4、主題の一つ紫陽花は、小さくても丁寧に色を重ねます。白い部分を残すのがコツです



5、遠くの紫陽花は失敗でした。拡大鏡を使って描けばよかった



6、もう一つの主題の親子。左から光が当たっていると意識して描きます